

令和8年度農林水産総合センター「夏の体験教室」の開催状況について

農林水産総合センターでは、農林水産業への関心と理解を深めてもらうとともに、農林水産総合センターの業務を広く県民に紹介するため、児童や生徒等が農林水産物に関する実験や観察を行う「夏の体験教室」を開催しました。

7月21日（火）から8月31日（月）にかけて、県内5つの研究所や農業高等学校で7つのテーマの体験教室を開催し、32組84人の児童や生徒、保護者の方に参加いただきました。

○チリメンモンスターを探せ！（主催：水産研究所）

日時：令和8年7月31日（金） 参加者 10組 29人

場所：瀬戸内市牛窓町鹿忍（水産研究所）

内容：選別前のチリメンを使い、シラス干しに混ざっているイワシ以外の稚魚やエビ、タコなどの幼生（チリメンモンスター）を探す。



【施設見学の様子】



【チリメンモンスター探しに挑戦中】

参加者からは

- ・ 魚への興味が更に高まった。
- ・ 普段見学できない施設や、稚魚を見学できて楽しかった。
- ・ チリメンモンスター探しでは、大人も子どもも楽しめた。

などの感想をいただきました。

○土や果物のことを見る、感じる、調べる！（主催：農業研究所）

日時：令和8年8月4日（火） 参加者4組11人

場所：赤磐市神田沖（農林水産総合センター）

内容：土壌の働きや、果物の香りや美味しさ等を科学的に評価する方法を体験する。



【土の仕組みを説明する様子】



【泥だんごづくりの様子】



【芳香剤づくりの様子】

参加者からは

- ・ 芳香剤作りが楽しかった。
- ・ 子どもが、土や果物、野菜など、楽しく体験しながら学ぶことができた。
夏休みの思い出の一つになった。
- ・ 様々な体験が盛りだくさんでとても良かった。

などの感想をいただきました。

○遺伝子にふれてみよう！（主催：生物科学研究所）

日時：令和8年8月5日（水） 参加者3組3人

場所：吉備中央町吉川（生物科学研究所）

内容：PCRを使った植物DNAの分析体験や生物科学研究所の施設見学。



【専門研究員と遺伝子について学習】



【研究施設の見学】

参加者からは

- ・ 遺伝子のような小さなものを実際に分析などして見て興味がわいた。
将来の夢にもつなげてみたいと思う。
- ・ 受講者のレベルに合わせた丁寧な説明だった。
- ・ 普段見られない機械をたくさん見ることでよかった。

などの感想をいただきました。

○森の恵みを体験してみよう！（主催：森林研究所（林業研究室））

日時：令和8年8月6日（木） 参加者 3組 7人

場所：勝央町植月中（森林研究所）

内容：サクラを使ったアクセサリーの作成やクラフト体験。



【アクセサリーをやすりで磨く様子】



【教室で作成したアクセサリー】



【教室で作成した置物の完成品】

参加者からは

- ・ 木で（ものを）作るのが楽しかった。
- ・ 自然の木にふれて、樺細工やレジンを使ったものを作ったりして、とても楽しかった。
- ・ 子供も夢中で取り組んでいて、大人も楽しく工作ができた。

などの感想をいただきました。

○木の良さを体験してみよう！（主催：森林研究所（木材加工研究室））

日時：令和8年8月7日（金） 参加者2組4人

場所：真庭市勝山（森林研究所（木材加工研究室））

内容：森林や木の話、ヒノキを使った木工体験や研究施設の見学。



【木材について学習する状況】



【施設見学の状況】



【施設見学の状況】



【木工体験の様子】

参加者からは

- ・すごく楽しかった。いい体験になった。
- ・体験場所に入ると木の香りがして癒された。
- ・木工体験は子供と一緒にできて、子供も喜んでいた。

などの感想をいただきました。

○卵の殻を使って工作をしよう！（主催：畜産研究所）

日時：令和8年8月8日（土） 参加者7組23人

場所：美咲町北（畜産研究所（まきばの館））

内容：牛乳パックを再利用して、オリジナルの万華鏡を作成。



【牛乳の豆知識を紹介】



【作成中の様子】



【完成した作品】

参加者からは

- ・夏休みに、家ではなかなか一緒にできない体験ができてありがたかった。
- ・クイズ形式で牛乳のことも知れて、豆知識として覚えておきたい。
- ・楽しく作品作りができ、宿題にもなったので助かった。

などの感想をいただきました。